



森林生態系における放射性物質の移行と 森林管理・森林政策に関するセミナー

(使用言語:ロシア語-日本語通訳付き)



▶ ヴァレリー・カスパロフ博士

(ウクライナ国立生命・環境科学大学 ウクライナ農業放射性学研究所 所長)

「ウクライナにおける汚染された森林及び採草地の観測データとモデル開発と予測」

▶ ヴァシル・ロスチェンコ博士

(ウクライナ国立生命・環境科学大学 ウクライナ農業放射性学研究所 放射性生態学観測、数学的モデリング及び線量算定研究所 所長)

「チェルノブイリの森林:問題点と課題」

▶ セルゲイ・フェセンコ博士

(国際原子力機関 陸域環境研究所)

「チェルノブイリ事故により汚染された森林におけるサンプリング及びモニタリングプログラム、放射性セシウムの挙動評価及び汚染された森林対策の動態モデル」

Place : 筑波大学 総合研究棟A-110

(Univ. of TSUKUBA Department of Integrative Environmental Sciences A-110, Univ of TSUKUBA)

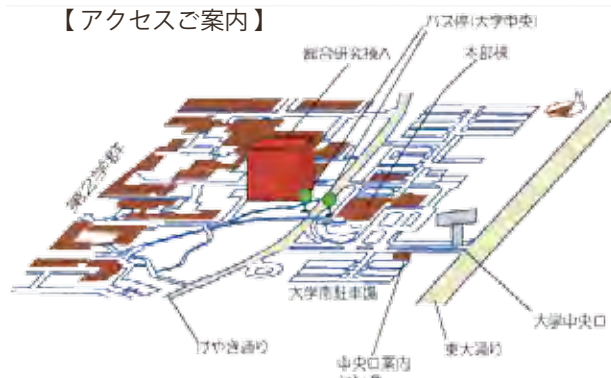
Date+Time : 2013年11月2日(土) 13:00-17:00

(Nov.2(Sat), 2013 13:00-17:00)

more info : アイソトープ環境動態研究センター

教授 恩田 裕一 029-853-4226

【アクセスご案内】



- 秋葉原駅からつくばエクスプレス
 →つくばエクスプレス乗車、つくば駅下車、バスターミナル
 →「筑波大学中央」または「筑波大学循環」行きバス乗車(15-20分)、
 バス停「筑波大学中央」下車
- 東京駅から高速バス (高速バス乗り場2番バス停)
 →東京駅八重洲南口から「筑波大学」行きバス乗車(約65分)
 →「筑波大学」(終点・バス停「筑波大学中央」と同じ位置)下車
- 大学構内案内
 本専攻がある総合研究棟Aは筑波大学の北地区に当たり、
 第2学群の東側・本部棟の西側に位置します。
 バスでお越しの方は「筑波大学(中央)」バス停で下車後、徒歩0分です。